

森 拓也 循環器科（獣医循環器認定医）

酪農学園大学獣医学部獣医学科 卒業（2006年）

順天堂大学医学部大学院 在学中

業績・論文・学会発表歴等

- ・僧帽弁形成術中に発生した高カリウム血症の補正に対して限外濾過（DUF）が有効であった極小犬の1例
（第94回獣医循環器学会 定例大会，第20回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・開心術中に発生した回路内血液凝固に対し、緊急リザーバー交換を行った2例
（第96回獣医循環器学会 定例大会，第21回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・体外循環時における犬の循環血液量についての考察
（第98回獣医循環器学会 定例大会，第22回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・開心術48例における体外循環関連有害事象の発生率および対処法について
（第100回獣医循環器学会 定例大会，第23回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・肺動脈狭窄症にバルーン弁口拡大術を実施した猫の1例
（第102回獣医循環器学会 定例大会）
- ・僧帽弁形成術において triangular resection を併用し前尖形成を行った犬の1例
（第102回獣医循環器学会 定例大会）
- ・肺水腫治療ガイドライン
（FORPETS VetWS セミナー第2回，2015年12月開催）
- ・急性心不全の薬物療養
（志学会セミナー，2015年9月開催）
- ・再狭窄を来した肺動脈弁狭窄症に対し、再度バルーン弁口拡大術を実施した犬の1例
（第103回獣医循環器学会 定例大会）
- ・犬の動脈管開存症における外科治療戦略
（第35回 動物臨床医学会年次大会）
- ・4D-CTにより僧帽弁腱索の評価
（第68回日本胸部外科学会定期学術集会）
- ・形成に苦慮した僧帽弁形成術を実施した犬の1例
（第81回日本循環器学会学術集会）
- ・犬の僧帽弁閉鎖不全症
（J-VET '18/1月号）

山本 竜平 画像診断科

大阪府立大学農学部獣医学科 卒業（2009年）

業績・論文・学会発表歴等

- ・脊柱管内硬膜外脂肪増生による後駆麻痺が認められた犬の1例
（平成22年3月 大阪府立大学獣医臨床研友会 症例検討会）
- ・後駆麻痺を呈する症例におけるCTとMRIの有用性
（平成24年3月 大阪府立大学獣医臨床研友会 症例検討会）
- ・消化管内異物症例におけるCT検査の有用性の検討
（第33回 動物臨床医学会年次大会）
- ・経口陽性造影剤を用いた消化管CT検査の有用性

(平成 25 年 3 月 大阪府立大学獣医臨床研友会 症例検討会)

- ・消化管内異物症例における CT 検査の有用性の検討

(平成 25 年 9 月 近畿地区連合獣医師会 獣医学術近畿地区学会)

- ・CT 検査で絞扼性イレウスと診断した犬の 3 例

(第 34 回 動物臨床医学会年次大会)

- ・Trousseau 症候群を疑った多発性脳梗塞の 1 例

(第 36 回 動物臨床医学会年次大会)

田中 利幸 画像診断科

大阪府立大学農学部獣医学科 卒業 (2004 年)

同校大学院生命環境科学研究科獣医学専攻社会人博士課程 修了

業績・論文・学会発表歴等

1. Shimada T, Tanaka T, Takeda S, Akiyoshi H, Aoki M, Ohashi F: Small animal surgical procedures using the ultrasonically activated instrument. *Jpn. J. Vet. Anesth. Surg.* 34(3): 71-87, 2003
2. Tanaka T, Akiyoshi H, Shimazaki H, Aoki M, Ohashi F: VAD Chemotherapy Regimen in a Young Dog with Multiple Myeloma. *J. Jpn. Vet. Med. Assoc.* 63: 797-801, 2010
3. Tanaka T, Akiyoshi H, Ijiri A, Shimazaki H, Aoki M, Ohashi F: A long surviving case of intracranial meningioma resection in the dog. *Jpn. J. Vet. Surg.* 41(1): 29-32, 2010
4. Hideo Akiyoshi, Shunji Sugii, Md. A. Nahid, Katsuhito Sone, Toshiyuki Tanaka, Cao Zheng, Li Yijyun, Mica Aoki, Shigeo Takenaka, Terumasa Shimada, Junichiro Shimizu, Kenichi Kiyomiya, Fumihito Ohashi: Detection of Chromogranin A in the Adrenal Gland Extracts of Different Animal Species by an Enzyme-Linked Immunosorbent Assay Using Thomsen-Friedenreich Antigen-specific *Amaranthus caudatus* Lectin. *Veterinary Immunology and Immunopathology* 144(3-4): 255-258, 2011.
5. Toshiyuki Tanaka, Hideo Akiyoshi, Hitoshi Shimazaki, Akinori Sato, Masahiro Inada, Ken-ichi Kiyomiya, Junichiro Shimizu, Zheng Cao, Yijyun Li, Akiyoshi Hayashi, Katsuhito Sone, Tadashi Kitai and Fumihito Ohashi: Spinal cord trauma in a cat caused by ingestion of a splinter. *JFMS* 14(2): 155-157, 2012.
6. Toshiyuki Tanaka, Hideo Akiyoshi, Tadashi Kitai, Ken-ichi Kiyomiya, Junichiro Shimizu and Fumihito Ohashi: A case of pancreatic panniculitis in the dog. *Jpn. J. vet. Clin. Pathol.* 11(2): 21-23, 2012.
7. Katsuhito Sone, Hideo Akiyoshi, Junichiro Shimizu, Zheng Cao, Yijyun Li, Toshiyuki Tanaka, Akiyoshi Hayashi, Shunji Sugii and Fumihito Ohashi: Surfactant Protein-A Concentration in Sera from Dogs with Pulmonary Parenchymal Diseases. *J. Vet Med. Sci.* 75(6): 685-691, 2013
8. Toshiyuki Tanaka, Terumasa Shimada, Hideo Akiyoshi, Zheng Cao, Keiichiro Mie, Yijyun Li, Akiyoshi Hayashi and Fumihito Ohashi: Germline polymorphism at the $\beta 2$ -microglobulin exon 1/intron 1 splice site in canine mammary gland simple and complex carcinomas. *Vet rec.* 172(20):529, 2013.

9. Toshiyuki TANAKA, Terumasa SHIMADA, Hideo AKIYOSHI, Junichiro SHIMIZU, Cao ZHENG, Li YIJYUN, Keiichiro MIE, Akiyoshi HAYASHI, Mitsuru KUWAMURA, Fumio HOSHI and Fumihito OHASHI: Relationship between Major Histocompatibility Complex Class I Expression and Prognosis in Canine Mammary Gland Tumors. *J. Vet. Med. Sci.* 75(10): 1393-1398, 2013.

10. CT 検査所見による犬の消化管リンパ腫と腺癌の鑑別. 大阪府獣医師会報. 67: 2-8, 2016.
(査読なし)

田中利幸、山城徳之、長田雅昭、進藤允、森拓也、嶋崎等:

11. Keiichiro MIE, Hideo AKIYOSHI, Shogo HIRATA, Dai SHIMADA, Takeshi IZAWA, Toshiyuki TANAKA, Akiyoshi HAYASHI and Fumihito OHASHI: Splenic Abscess Suspected of Relation with Pancreatitis in a Dog. *J. Jpn. Vet. Med. Assoc.* 70: 114-119, 2017.

12. Toshiyuki Tanaka, Hideo Akiyoshi, Keiichiro Mie, Hitoshi Shimazaki and Fumihito Ohashi: Drip infusion cholangiography with CT in cats. *JFMS*. Print ahead, 2017.

13. Toshiyuki Tanaka, Hideo Akiyoshi, Hitoshi Shimazaki, Ryo Kawakami, Keiichiro Mie, Yuki Yamada and Fumihito Ohashi : Apparent diffusion coefficient value for a B-cell central nervous system lymphoma in a cat. *JFMS Open Rep.* 4(1): 2055116917750762, 2018

14. Toshiyuki Tanaka, Hideo Akiyoshi, Keiichiro Mie, Mari Okamoto, Yuuki Yoshida, Shohei Kurokawa: Computed tomography findings of canine gastric tumors including lymphoma, adenocarcinoma, inflammatory polyp, and leiomyoma. *Vet Radiol Ultrasound*. 2018. in press.

- ・犬の腫瘍組織内に浸潤する単核球の細胞数、サブセットならびにサイトカイン産生に関する研究.

田中利幸，嶋田照雅，青木美香，大橋文人：

(JSVCP. 2. 21. 2004 東京 日本)

- ・1才9ヶ月齢の犬における多発性骨髄腫の1例.

田中利幸，秋吉秀保，嶋崎等，大橋文人：

(平成21年度近畿地区獣医三学会)

- ・外科手術を行なった脳髄膜腫の1例.

田中利幸，秋吉秀保，井尻篤木，嶋崎等，北井正志，大橋文人：

(第30回動物臨床医学会記念年次大会)

- ・炎症性腸疾患(IBD)に無菌性脂肪織炎を併発した犬の1例.

田中利幸，秋吉秀保，嶋崎等，北井正志，大橋文人：

(獣医臨床研友会 症例検討会)

- ・CT検査が有用であった腸捻転の犬の1例.

田中利幸，秋吉秀保，嶋崎等，清水純一郎，大橋文人：

(平成22年度近畿地区獣医三学会)

- ・膝炎に関連した結節性脂肪織炎の1例.

田中利幸，秋吉秀保，北井正志，清水純一郎，大橋文人：

(第31回動物臨床医学会年次大会)

- ・頸部脊椎内異物により神経症状を呈した猫の1例.

田中利幸，北井正志，秋吉秀保，嶋崎等，佐藤昭則，稲田昌弘，清水純一郎，大橋文人：

(獣医臨床研友会 症例検討会)

- ・胆嚢粘液嚢腫における CT 胆嚢胆管造影法 (DIC - CT) の有用性.
田中利幸、秋吉秀保、嶋崎 等、湯川尚一郎、山崎綾子、北村憲彦、島村俊介、鍋谷知代、西村 紳、平田翔吾、福井仁美、村上康平、古家 優、鳩谷晋吾、桑村 充、井澤武史、清水純一郎、谷 浩行、井芹俊恵、杉浦喜久弥、笹井和美、稲葉俊夫、山手丈至、大橋文人」：
(平成 23 年度近畿地区獣医三学会)
- ・中皮腫を疑う犬に LAK 療法を行なった 1 例.
(獣医 CT・MRI 研究会 第 5 回 CT 画像症例検討会)
- ・頸部腫瘍の犬の 1 例.
(獣医 CT・MRI 研究会 第 6 回 CT 画像症例検討会)
- ・頭蓋内髄膜腫の栄養血管描出に MR angiography が有用であった犬の 1 例.
田中利幸 山城徳之 安部欣博 長田雅昭 進藤允 森拓也 西戸達郎 嶋崎等：
(第 36 回動物臨床医学会年次大会)
- ・脳血腫の犬 4 例の画像所見.
田中利幸 山城徳之 進藤允 森拓也 嶋崎等
(大阪府立大学獣医臨床研友会症例検討会)
- ・CT 検査所見による犬の消化管リン腫と腺癌の鑑別.
田中利幸 山城徳之 長田雅昭 進藤允 森拓也 嶋崎等
(平成 28 年度近畿地区獣医三学会)
- ・鼻腔内腫瘍および眼窩腫瘍における CT・MRI 所見.
田中利幸 山城徳之 進藤允 森拓也 嶋崎等 黒川晶平
(第 37 回動物臨床医学会年次大会)
- ・犬の肝臓リンパ腫における CT 所見.
田中利幸 山城徳之 中村晃三 山本竜平 進藤允 森拓也 嶋崎等
(第 61 回日本獣医画像診断学会)
- ・皮膚および皮下軟部組織肉腫における画像所見.
田中利幸 山城徳之 中村晃三 進藤允 森拓也 嶋崎等
(第 38 回動物臨床医学会年次大会)

中村 晃三 画像診断科・脳神経科

酪農学園大学獣医学部獣医学科 卒業 (2008 年)

同校大学院博士課程 修了

業績・論文・学会発表歴等

- ・けいれん発作と MRI 上後頭骨形成不全所見を認めた 3 例
(北海道小動物獣医師会年次大会 2008)
- ・壊死性髄膜脳炎における脳脊髄液中の蛋白質解析
(第 12 回日本臨床獣医学フォーラム年次大会)
- ・Proteome analysis of cerebrospinal fluid in healthy beagles and canine encephalitis.
(J Vet Med Sci. 2012;74:751-6.)
- ・非感染性脳炎が疑われた 43 症例における検討
(第 22 回中部小動物臨床研究会年次大会)
- ・大脳右腹側から発生した脳腫瘍 (髄膜腫) の犬に摘出手術を行い良好な経過を呈した 1 例
(獣医神経病学会 2014)

- ・脳硬膜に浸潤した頭蓋骨腫瘍（多分葉状腫瘍）の摘出手術を行い良好な経過を呈したイヌの1例
（第23回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・膵臓腫瘍（インスリノーマ）に対して外科的治療を行い良好な経過を呈している1症例
（第24回中部小動物臨床研究会年次大会）

檜木 佑将 画像診断科

酪農学園大学獣医学部獣医学科 卒業（2012年）

業績・論文・学会発表歴等

- ・形成外科とPRP（多血小板血漿）ゲルの併用法を実施した広範囲皮膚欠損の3症例
檜木佑将 古上裕嗣 大下のえ 永山賢二 麴谷全弘 水本盛彦 森本修 坂本綾
中津卓也 岸上義弘

（第33回動物臨床医学会年次大会）

- ・重度大脳低形成（水頭症）に対し脂肪幹細胞による再生医療を実施した1例

檜木佑将 古上裕嗣 大下のえ 永山賢二 麴谷全弘 森本修 中津卓也 王寺隆
岸上義弘

（第34回動物臨床医学会年次大会）

- ・岸上獣医科病院における橈尺骨骨折の治療および治療経過に関する回顧的研究（2009-2014）

檜木佑将 高橋摩衣 佐巴 鎌田えりな 大下のえ 古上裕嗣 中津卓也 岸上義弘

（第35回動物臨床医学会年次大会）

- ・橈尺骨骨折癒合不全に対し多血小板血漿（PRP）を用いたNeedle Stick(NS)法で小侵襲骨再生に成功した2症例

檜木佑将 寒河江 古上裕嗣 大下のえ 中津卓也 岸上義弘

（平成28年 日本再生医療学会）

- ・膝蓋骨内方脱臼と膝窩筋

檜木佑将 宮本昌広 寒河江亮太 森本修 中津卓 古上裕嗣 岸上義弘

（第38回動物臨床医学会年次大会）

西村 紳 外科

大阪府立大学農学部獣医学科 卒業（1993年）

同校大学院生命環境科学研究科獣医学専攻社会人博士課程入学（2013年）

業績・論文・学会発表歴等

- ・外科療法を施した卵巣腫瘍のミニブタの一例
（第36回動物臨床医学会年次大会）
- ・副腎腺癌および副腎由来神経芽細胞腫を合併した犬の一例
（平成26年 獣医麻酔外科学会）
- ・両眼に水晶体前方脱臼を発症した犬の1例
（平成27年3月 獣医臨床研友会）
- ・広範な腹筋欠損を呈した猫の1例
（平成27年 日本小動物獣医学会（近畿））
- ・猫の虹彩黒色腫2例の画像所見
（平成27年 日本小動物獣医学会（近畿））
- ・外傷性椎間板ヘルニアの犬に対する4治験例
（平成27年 獣医麻酔外科学会）

- 眼窩リンパ腫の犬の 1 例
(第 37 回動物臨床医学会年次大会)
- 骨化性を伴う皮下腫瘤を認めた会陰ヘルニアの犬の 1 例
(第 37 回動物臨床医学会年次大会)
- 脾臓骨髓脂肪腫の犬の 1 例
(第 37 回動物臨床医学会年次大会)
- 超音波生体顕微鏡による健常ならびに緑内障罹患犬の隅角微細形態評価
(第 37 回動物臨床医学会年次大会)
- 胃瘻チューブによる管理を行った慢性偽性腸閉塞症の犬の 1 例
(第 38 回動物臨床医学会年次大会)
- 心膜に発生した肉腫の 1 例
(第 38 回動物臨床医学会年次大会)
- 犬の口角部口唇腺に発生した多形腺腫の 1 例
(平成 29 年 日本獣医病理学専門家協会 (JCVP) 学術集会)
- 横紋筋および末梢神経に主座する T 細胞性リンパ腫の猫の 1 例
(平成 29 年 日本小動物獣医学会 (近畿))
- 超音波凝固切開装置を用いた手術
(Tech. Mag. Vet. Surg. 2014 Jul 106)
- 外科療法を施した卵巣腫瘍のミニブタの 1 例
(日本獣医師会雑誌)
- 副腎腺癌および副腎由来神経芽細胞腫を合併した犬の 1 例
(日本獣医師会雑誌)
- Pleomorphic adenoma of the labial gland, characterized by reticular pattern of myoepithelial cells in a dog.
(J Vet Med Sci. 2017 Jul 7;79(7))

嶋崎 等 顧問

(大阪府立大学生命環境科学域附属臨床センター特任講師)

1982 年 近畿医療技術専門学校放射線科卒 診療放射線技師免許取得
約 17 年にわたり人医療に携わる。その間、高度放射線機器の研究開発や人材育成に勤めるが
動物医療に関心をもち 38 歳にして酪農学園大学獣医学部に入学

2004 年 酪農学園大学獣医学部修士課程終了 獣医師免許取得
2004 年 酪農学園大学伴侶動物医療学教室 研究医(2 年間)
2006 年 千里桃山台動物病院 院長就任
2007 年 大阪府立大学生命環境科学研究科獣医学高度医療学講座 研究医
2009 年 大阪大学医学部付属病院 放射線科 臨床登録員
2010 年 CT・MRI 研究会 会長就任
2014 年 千里桃山台動物病院 院長退任
2014 年 大阪府立大学生命環境科学域附属臨床センター特任講師就任
2015 年 近畿動物医療研修センター 顧問就任
2016 年 近畿動物医療研修センター センター長就任
2018 年 動物臨床医学会画像診断分科会 副委員長

人医療での診療放射線技師としての 18 年間の臨床経験を活用し、獣医療で CT・MRI の画像
診断を実践している。

現在は、大阪府立大学獣医臨床センター・民間 23 動物病院の CT・MRI の撮影指導と画像診断
を実践している。

所属

日本小動物獣医学会
日本獣医師会
獣医麻酔外科学会
獣医画像診断学会
獣医神経病学会
獣医 CT・MRI 研究会 (会長)
動物臨床医学会画像診断分科会 (副委員長)

論文(共同研究)

Spinal Nephroblastoma in a Miniature Dachshund

(平成 18 年 12 月 J Vet Med Sci 巻 : 68 号 : 12 ページ : 1383-1385))

外科手術単独で長期生存が可能であった脳髄膜腫の 1 例

(平成 22 年 1 月 獣医麻酔外科学雑誌 巻 : 41 号 : 1 ページ : 29-32 (J-STAGE))

嚢胞性髄膜腫に対し摘出手術を行った犬 3 例

(平成 22 年 4 月 獣医麻酔外科学雑誌 巻 : 41 号 : 2 ページ : 53-57 (J-STAGE))

トルコ鞍周辺の脳腫瘍に対し経前頭洞および経蝶形骨よりアプローチした 2 例

(平成 22 年 4 月 獣医麻酔外科学雑誌 巻 : 41 号 : 1 ページ : 17-22 (J-STAGE))

VAD 療法を実施した多発性骨髄腫の若齢犬の 1 例

(平成 22 年 10 月 日本獣医師会雑誌 巻 : 63 号 : 10 ページ : 797-801)

Spinal cord trauma in a cat caused by ingestion of a splinter.

(平成 24 年 2 月 J Feline Med Surg. 14 : 155-157)

Surgical resection of twenty-three cases of brain meningioma.

(平成 26 年 4 月 J Vet Med Sci. 76:331-338.)

学会発表・掲載

頭部 DSA における画質改善(第 3 報) : 特に頭部 頸部補償フィルタと手技 : DSA-2 画質 :
第 43 回総会会員研究発表予稿

(昭和 62 年 3 月 公益社団法人日本放射線技術学会)

ヘリカル CT における最適角度の検討 : 頭部固定補助具(ヘッドホルダー)の試作

(平成 9 年 7 月 公益社団法人日本放射線技術学会)

新開発アドバンスト・アナトミカル・プログラム(一般撮影装置)の有用性

(平成 10 年 8 月 公益社団法人日本放射線技術学会)

大学の二次診療 大阪府立大学(第 1 回)獣医臨床センターにおける二次診療の取り組み 脳・
脊 髄疾患への取り組み

(Clin Note 巻 : 6 号 : 2)

次世代の画像解析ソフトウェア 獣医臨床における 3D - CT による画像診断の有用性

(Innervision 巻 : 19 号 : 9)

獣医臨床における 3D-CT による画像診断の有用性.

(Innervision 巻 : 20 号 : 7)

犬の椎間板突出・逸脱症における 3DCT 画像の有用性

(平成 15 年 10 月 日本獣医画像診断学会)

0.2TopenMRI を用いた MR guide PDT の犬の 1 例

(平成 17 年 6 月 獣医麻酔外科学会)

犬の脊髄疾患に対する三次元画像 CT による画像診断の有用性の検討

(平成 17 年 6 月 獣医麻酔外科学会)

犬の脳表 3 次元画像作成法およびその有用性の検討

(平成 17 年 6 月 獣医麻酔外科学会)

低磁場 MR 装置を用いた下垂体の描出および dynamic MRI の有用性の検討

(平成 20 年 10 月 日本小動物獣医学会)

ダイナミック CT および選択的動脈内 Ca 注入法にて局在診断し塞栓治療したインスリノー マ
の 1 例

(第 28 回 動物臨床医学会年次大会)

CT MRI において椎間板ヘルニアと診断された画像パターンの検討

(第 29 回 動物臨床医学会年次大会)

インターネットによる遠隔診断システムの実践経験

(第 30 回 動物臨床医学会年次大会)

犬のインスリノーマにおけるダイナミック CT の撮影タイミングとその有用性

(第 31 回 動物臨床医学会年次大会)

クラウドによる画像サーバーシステムの使用経験

(第31回 動物臨床医学会年次大会)

造影CT検査による犬脾臓の血管肉腫と非悪性腫瘍病変の比較検討

(北海道小動物獣医師会 2011年11月)

肝臓領域における造影三相CTの有用性の検討

(第33回 動物臨床医学会年次大会)

画像上髄膜腫と診断され開頭腫瘍摘出術を施行した犬の3症例—I 画像診断からの検討—

(北海道獣医師会 三学会 2013年9月)

脳腫瘍摘出術を行った22例のMRI画像所見(脳実質外・脳実質内の判別)

(第36回 動物臨床医学会年次大会)

呼気・吸気における肺CT画像の検討

(第37回 動物臨床医学会年次大会)

脳腫瘍(髄膜腫)のMRI画像所見

(第38回 動物臨床医学会年次大会)

エクステンション活動:講師

日本獣医師会 近畿地区学会 CT・MRIによる診断法 平成20年

日本獣医師会 岩手学会 椎間板ヘルニア教育講演 CT・MRIの診断法平成21年

三重獣医師会 画像診断セミナー CT・MRIの基礎 平成21年

日本小動物 獣医学会(近畿) 胸部・腹部のCT検査 平成22年

大阪志学会 これだけは知っておきたい~CT・MRIの読影の基礎と代表的な疾患~ 平成22年

日本獣医師会 近畿地区学会 ウェットラボ 胸腰部椎間板ヘルニアの診断・治療 平成22年

釧路獣医師会 画像診断セミナー CT・MIで何がわかる 平成22年

東芝 CTユーザーセミナー 平成21年・平成22年

三重獣医師会 一次診療病院としてCT検査をどう活用するか 平成23年

日本獣医師会 近畿地区学会 ウェットラボ CTにおける肝胆管系の画像診断 平成23年

上海獣医師会 CT・MRIセミナー 平成24年

上海獣医師会 明日から使える?レントゲン撮影と診断-基礎編- 平成24年

個人開催 CT・MRI 画像診断セミナー 平成21年~平成25年 6回/年

第36回動物臨床医学会年次大会 CTの基礎知識 平成27年

第36回動物臨床医学会年次大会 呼吸器疾患におけるCT検査 平成27年

東大阪市獣医師会 MRIの読み方の基礎の基礎から(誰でもわかるMRI) 平成27年

東大阪市獣医師会 脊椎・脊髄疾患におけるMRI検査 平成27年

獣医CT・MRI研究会 平成25年~平成30年 講演回数32回

獣医CT実習研修 平成27年~平成30年 12回/年

獣医MRI実習研修 平成27年~平成30年 12回/年

中華民国小動物臨床研究会 CT・MRI検査の基礎講座・臨床における実際 平成30年